

くみあいニュース No. 170

2022. 5. 25 発行 京都工芸繊維大学職員組合発行

<https://laborunion.xsrv.jp/kitunion>

ウクライナ問題に関する組合から国連 UNHCR への寄付

2022 年 2 月 24 日にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始し、現在も続いています。本問題に対して多くの団体から非難の声明が出されていますが、京都工芸繊維大学 職員組合からも何かできないか、という議論が執行委員の間で行われ、2022 年 3 月 17 日に開催された 2021 年度 第 2 回執行委員会において、寄付の提案が出されました。急を要する内容であり、予備費にて立替払いを行い、総会での信任を得ることで、寄付の早期実行が可能であろうとの結論に至りました。

寄付金の額は、組合員の月会費合計額を大きく超えない規模から 10 万円としました。

寄付を募っている団体を複数調べ、寄付金使途が、軍事関連用途等に展開されず、確実に難民への直接支援がなされることを条件として、執行委員メール会議にて、国連 UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）への寄付を決定し、2022 年 4 月 4 日に振り込みを行いました。寄付は、4 月 25 日に UNHCR に受領され、5 月 17 日に感謝状と領収書が、郵送で届きましたのでご報告いたします。

本件はすぐに動くべき内容として、執行委員会において決定、実行しましたが、この実行内容とプロセスが適当であったか、または、これからこのような問題が生じた場合、どのような対応をすべきかなど、今後検討が必要であると言えます。是非ご意見等、お寄せください。

執行部では、組合員の皆さん方からの声を集め、積極的に学長や大学に伝えていきます。要求事項、要望事項、悩みごと、身近な問題点などありましたら、些細なことでも結構です。執行部、代議員までお寄せください。

・連絡先：kyoto.tech.union@gmail.com、フォーム：<https://forms.gle/xNYPvweCy8LoWVNKA>